

A-5					
主題	特別養護老人ホームにおける亜型 BMI（アゼリー江戸川方式）を用いた栄養管理				
副題	高齢者の栄養管理値				
キーワード 1	高齢者施設	キーワード 2	BMI	研究(実践)期間	84 ヶ月
法人名・事業所名	社福) 江寿会 アゼリー江戸川				
発表者(職種)	木本美穂(看護師)				
共同研究(実践)者	來栖宏二(医師)、石田治雄(医師)				
電話	03-5607-0482	FAX	03-5607-7430		
事業所紹介	緑多い江戸川区の中「利用者第一主義」「地域社会への貢献」「仕事を通しての自己実現」3つの理念のもとケアに取り組んでいます。ショートステイ、デイサービスを併設している。入所者85名平均年齢87歳 平均介護度 4.1 の特別養護老人ホームです。				
<p>《1. 研究(実践)前の状況と課題》</p> <p>低栄養は免疫機能の低下を招き、特に高齢者では肺炎などの合併症を起こしやすく、生活の質を低下させることで知られている。栄養評価の指標として BMI (Body Mass Index) は簡単で分かりやすく国際的にも広く使われているが、高齢者施設では円背や四肢の拘縮などの変形があるもの、また寝たきりで立位のとれないものがあり、BMI 算出に必要な身長測定ができない、あるいは測定しても値の信頼性に欠けるものが多く、毎月 BMI を算定していないところが多い</p> <p>《2. 研究(実践)の目的ならびに仮説》</p> <p>高齢者施設の栄養管理に BMI が利用されにくい理由は身長測定が煩雑なので毎月行われにくいことと測定結果の信頼性の低さにある。身長は骨の成長期に伸びるが成人になると一定の値となり、高齢になると脊柱の変形や四肢の拘縮などの影響で低値になることもあるが、これは二次的なあるいは病的なものによるものであると推定し、健常時(成人期)の身長を用いて BMI を算定する亜型 BMI (アゼリー江戸川方式) を考案して栄養管理を行った</p> <p>《3. 具体的な取り組みの内容》</p> <p>入所時に健常時の身長(主として 50-60 代)を入所者や家族から聴取し、これを固定した身長として毎月測定する体重とで全入所者の BMI を算定する。この BMI 値を毎月定期的に行われる合同会議(介護・医師・看護・OT)で検討して栄養状態の変動を把握し、健康や食事内容の管理や介護面で役立てている</p> <p>《4. 取り組みの結果》</p> <p>2012 年中頃から亜型 BMI を取り入れ栄養状態の把握に努めてきた結果、2013 年 9 月(入所者 76 名)では BMI < 18 の痩せが 30 名(40%)、BMI < 15 の極く痩せが 10 名</p>					

(13%)であったが、2020年12月(入所者80名)ではBMI<18の痩せが6名(7.5%)、BMI<15の極く痩せ0名(0%)と減少しており、直近の3年間ではBMI<18は約10%、BMI<15は0%と栄養状態は安定している

《5. 考察、まとめ》

高齢者の生活の質を保つためには適切な栄養評価は欠かせない。BMIは簡単で分かりやすく広く用いられる栄養評価法で、厚生労働省が5年ごとの改定してきた日本人の食事摂取基準も2015年より摂取カロリー数からBMI値に変更されている。しかしこの簡便な栄養評価指数とされているBMIには立位身長と体重測定が必須となるので、円背や四肢拘縮などの変形があるものや寝たきりの高齢者、中でも介護の必要な高齢者では算出することが難しくなる。立位の保てない場合の身長測定には臥床身長、膝高値からの推定身長などがあるがいずれも良い相関は得られておらず、また強い変形や拘縮のある場合には測定できないため高齢者施設ではほとんど使用されていない。この欠点を補う意味で健常時の身長を固定して用いた亜型BMI(アゼリー江戸川方式)BMI値をもとに栄養管理を行ったところ利用者のQOLの向上を得られた

《6. 倫理的配慮に関する事項》

なお、本研究(実践)発表を行うにあたり、ご本人(ご家族)に口頭にて確認をし、本発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

《7. 参考文献》

要介護後期高齢者におけるBMI(Body Mass Index)とADL(Activities of Daily Living)の関する考察

<http://www.ncn.ac.jp/academic/020/2004/2004jns-ncnj11.pdf>

介護老人福祉施設における栄養評価の検討

<https://core.ac.uk/download/pdf/72758184.pdf>

NST LETTER 身長・体重の実測が困難な時はどうしてる？

<http://www.chikubageka.jp/assets/files/pdf/folder/nstletter39.pdf>

《8. 提案と発信》

極く痩せ型からの脱却はご本人の体力を維持していくためにも必要不可欠であると考えているがBMIの測定には身長の測定が重要になる。しかし測定方法はまちまちであり、施設間での比較検討が行われにくい。本方式を用いれば共通の認識で論ずる事が出来る。